

本町の粗飼料の自給状況は



柏木 幸平議員

粗飼料自給率の向上と低コスト生産に努め、粗飼料の年間平均給与体系を推進していきたい。

耕作放棄地や 借地斡旋の現状は

柏木幸平議員 生産調整に伴う減反や耕作放棄地の増加、さらには、天候不良等により、稲わら等の粗飼料の確保が図れない時もあり、外国産稲わらや外国産牧草に頼らなければならぬ現状にある。本町の粗飼料の自給状況はどうか。

柏木議員 肉用牛飼養農家や酪農農家、また、経営規模拡大を目指す耕種農家等も、農地を求めている。しかし、個人での農地探しには、限界がある。本町の耕作放棄地の現状と借地利用について伺う。

北村町長 本町においても、稲わら・飼料作物の作付けなど、粗飼料の増産・自給率の向上に努め、十三年度は一〇九・五％の飼料畑造成を行うなど、粗飼料の自給状況は向上してきている。今後も、

町長 本町の十五年度末の総流動化面積は四〇二㊦で、利用集積率は二五・七％である。耕作放棄地の面積は、一〇五・九％である。本年度は、農業委員会独自の活動として、耕作放棄地の一筆ごとの



乾草をラッピング（手前）し、粗飼料の保存・確保を図る畜産農家

調査をする。これが終了すると、農業委員会から農地の利用促進が働きか

けられ、耕作放棄地解消に大きくつながるものと期待している。

学校敷地内を完全禁煙化に

柏木議員 町内の小・中学校において、教職員の喫

煙の状況と教職員の喫煙による健康管理、そし

て、児童・生徒への受動喫煙防止への配慮はなされているか。

また、和歌山県では、全公立学校敷地内での完全禁煙化を実施しているが、本町では、できないものか。

福留教育長 管理職研修会で指導し、非喫煙者に影響のない場所を、喫煙場所として限定し、校舎内禁煙にしている。喫煙の状況は、全教職員の内三四名・二六％が喫煙者である。

また、教職員の喫煙による健康管理は、たばこが嗜好品であるため、禁煙を強制できない。

児童への配慮は、喫煙マナーを守り、喫煙する姿が極力、児童・生徒の目に触れないよう配慮をしている。学校敷地内の完全禁煙化は、現在では考えていない。